

# PANDEMIC

## サバイバル

### 日本代表決定戦 トーナメントルール

■**開催要項**:パンデミック・サバイバル 2018 世界選手権の日本代表を決める、パンデミック・サバイバル日本代表決定戦。各予選の優勝チームが決勝へ進出、決勝の優勝チームが世界選手権への出場権を得ます。

本戦は以下のスケジュールで開催されます:

パンデミック・サバイバル 2018 世界選手権日本代表決定戦

2018年6月23日(土)予選

2018年6月24日(日)予選・決勝

東京・渋谷 シダックス・カルチャーホールB (<https://www.shidax.co.jp/ssv/hall/access.html>)

(日本代表決定戦の優勝チームには、世界選手権/イタリアへの渡航費用として¥240,000を授与します。)

パンデミック・サバイバル 2018 世界選手権

2018年10月30~11月4日 イタリア・ルッカ Lucca Comics & Games イベント内

世界チャンピオンとなったチームには、パンデミックのゲームボードに記載されてる都市を1つ選び、その都市への「空輸」カード(その都市への7日分の旅行費用/最大\$10,000)がプレゼントされます。

■**参加資格**:2人1組のチームで参加しなければなりません。今大会は、パンデミック・サバイバル世界選手権の日本代表を決めるトーナメントのため、勝ち進むかぎり(予選を通過した場合)チームメンバーの変更はできません(予選で敗退した場合は、メンバーを変更して別の予選に出場することは可能です)。

優勝した場合に、チームの2人(勝ち進むかぎりメンバーの変更はできません)が6月24日の決勝および10~11月にイタリア・ルッカで開催される世界選手権に出場できる(世界選手権に出場する気があり、現在のところスケジュールや海外渡航に関して問題なく、現地で英語でのコミュニケーションが可能)ことが前提になります。権利の繰り下がりはありません。未成年者の方は、予選を通過した場合に保護者(親権者)の承諾が必要となります。

また、参加者は「パンデミック:新たなる試練」および拡張セット「迫りくる危機」のプレイ経験があり、ルールを理解していることが前提となります。

#### ■**競技方法**:

各予選、最大12チーム(24名)が同条件、同時進行でゲームをプレイし、最も早く4種類の治療薬すべてを開発する、または唯一の生き残りチームになれば優勝です。

- ・全チーム同じ役割(2つ)をプレイします。
- ・プレイヤーカード(都市カード、エピソード、イベント)の順番も全チーム同じです。
- ・感染カードの山札は、ゲームマスターのみが持ち、引くたびに全チームにアナウンスします(全チーム共通です)。
- ・手番は全チーム同時進行で、全チームの手番が終了してから、次の手番に進行します。
- ・各予選は1ゲームのみです。
- ・各予選の優勝チームが、6月24日(日)18:30より実施する決勝戦へ進出、決勝戦の優勝チームが、日本代表として世界選手権の出場権を得ます。
- ・特に言及しないかぎり、「パンデミック:新たなる試練」及び拡張セット「迫りくる危機」のルールに従います。

■ゲームの進行:

- ・ 各チーム同時に着席します。テーブル上にはゲームボード、コマ類、プレイヤーカードの山札、2枚の役割カードが準備されています。(ゲームが開始されるまでプレイヤーカードに触れてはいけません。プレイヤーカードの山札は順番が決まっているため、シャッフルもしてはいけません。)着席後、どちらがどの役割をプレイするかを決めてください。
- ・ ゲームマスターより、ゲーム開始時の9つの感染都市が発表となります。
- ・ ゲームマスターの合図により、各チームは自分の手札を見て手番を開始し、アクションを実行します。チームメンバー同士で相談することが可能です。各プレイヤーの手札は、チームメンバーに見えるようにしてください。
- ・ 各手番の最大4つのアクションの制限時間は、
  - ゲームの最初の手番:2分
  - その後の手番:1分15秒
  - 各手番、残り15秒の時にゲームマスターがアナウンスをします。
  - 制限時間内に実行できないアクションは、その手番は実行しないことを選択したとみなします。
  - その後、全チーム一斉に手番プレイヤーがカードを2枚引きます。ただし、このときは1枚ずつ順番に引きます(パンデミック:新たな試練の基本ルールと異なることに注意してください)。
- ・ その後、ゲームマスターが感染カードの山札から現在の感染率と同枚数のカードを引き、全チーム同時に感染の処理を実行します。
- ・ アウトブレイクが発生した場合は、スタッフに報告し、速やかに処理を行ってください。
- ・ いかなる時でもプレイヤー1人の手札が7枚を超えるたびに、その時点で余分な手札は使用するか捨て札にしなければなりません(カード2枚を引くときも、1枚ずつ引くたびにチェックします)。余分な手札の処理の制限時間は20秒です。20秒を超えた場合は、フロアジャッジの確認の元、そのプレイヤーが最後に引いた(手札に加えた)カードを捨て札にしなければなりません。
- ・ 全チームの手番が完了したら、ゲームマスターの合図により、全チーム同時に次の手番を開始します。
- ・ ゲームの敗北条件(8回目のアウトブレイク、または病原体コマの不足)に達したチームはその時点で脱落します。スタッフに報告しなければなりません。
- ・ 一番先に4種類の治療薬を開発したチームは、その時点でスタッフに報告し、今回の予選で優勝となり、予選自体が終了となります。
- ・ 一番先に4種類の治療薬を開発したチームが同手番中に複数ある場合、以下の手順で上位を決めます:
  1. アウトブレイクの回数が少ないチームを上位とする。
  2. 同一色の病原体コマが3個配置されている都市が少ないチームを上位とする。
  3. ゲームボード上に配置されている病原体コマの総数が少ないチームを上位とする。
  4. 上記3条件とも同数の場合、該当チームはすべて予選通過とする。
- ・ 脱落していないチームが1チームになった場合、そのチームが優勝となり、予選自体が終了となります。
- ・ 複数のチームが同一手番中に脱落し、全チームが脱落した場合は、最後まで残っていたチームの中で、以下の手順で上位を決めます:
  1. 開発済み治療薬の数が多いチームを上位とする。
  2. アウトブレイクの回数が少ないチームを上位とする。
  3. 同一色の病原体コマが3個配置されている都市が少ないチームを上位とする。
  4. ゲームボード上に配置されている病原体コマの総数が少ないチームを上位とする。
  5. 上記4条件とも同数の場合、該当チームはすべて予選通過とする。

■その他:

- ・ イベントカード「静かな夜」は、パンデミック・サバイバルでは使用しません(プレイヤーカードの山札には入っていません)。

- ・ ゲーム中、記録(メモや写真など)を取ることは禁止します。
- ・ いかさま行為(故意の不正プレイ)が発覚した場合、その時点で、そのチームは敗北となります。